



真紀「よかったあ……。この調子なら、奥まで行けるかな？」

六花「油断は禁物よ。でも、新藤さんがいてくれて助かるわ」

四年前。

魔鉱都市・アビスコア。  
第八六四番坑道。

これが、龍牙くんのおちんちん……

これを舐めたりすると、気持ち良いの

全ては、あの日から始まった。



ダメツ、罨よ!!

みんな来ないで！下がって——!!

昨日は……嬉しかったよ

ありがとう、龍牙くん

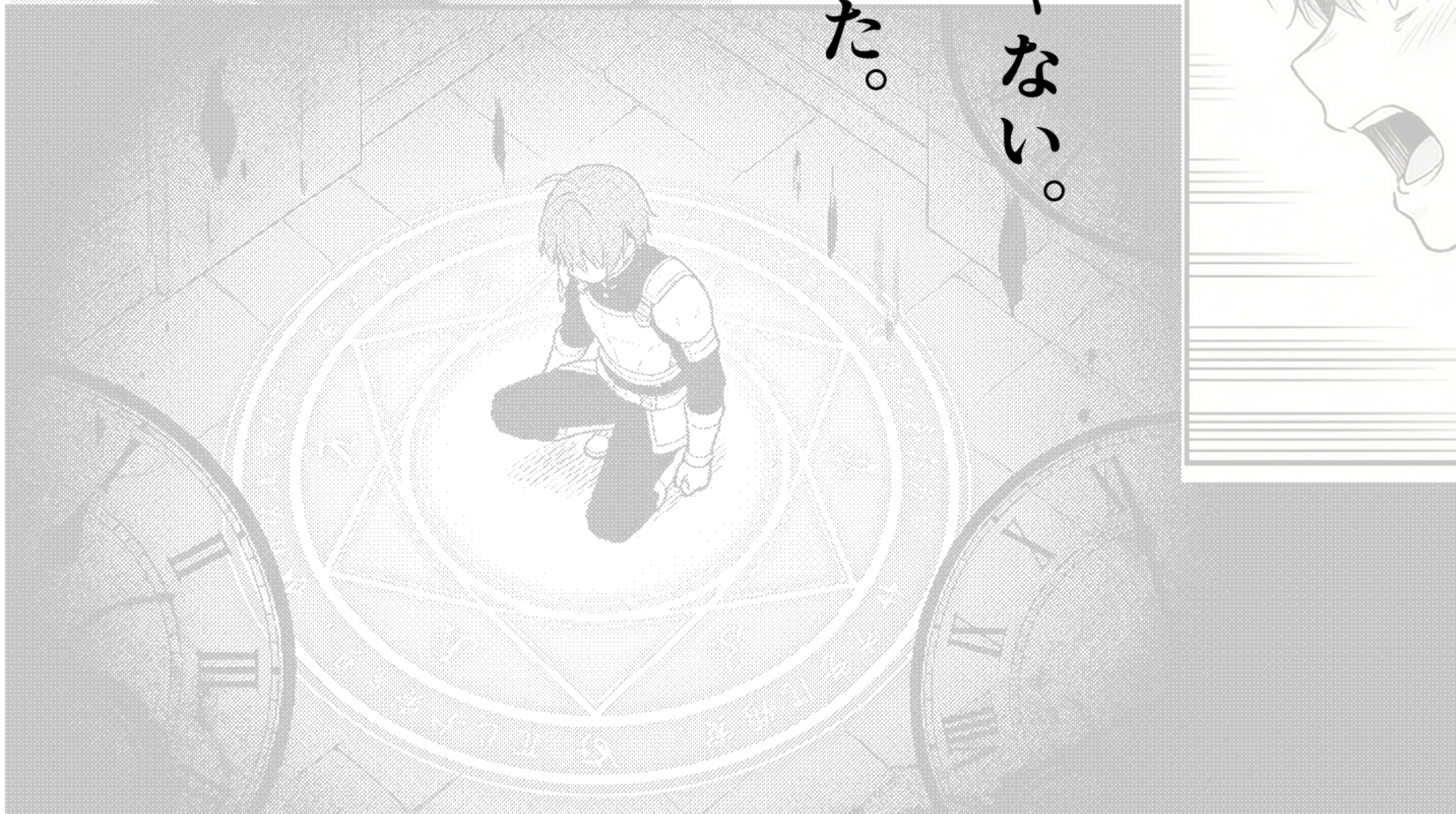
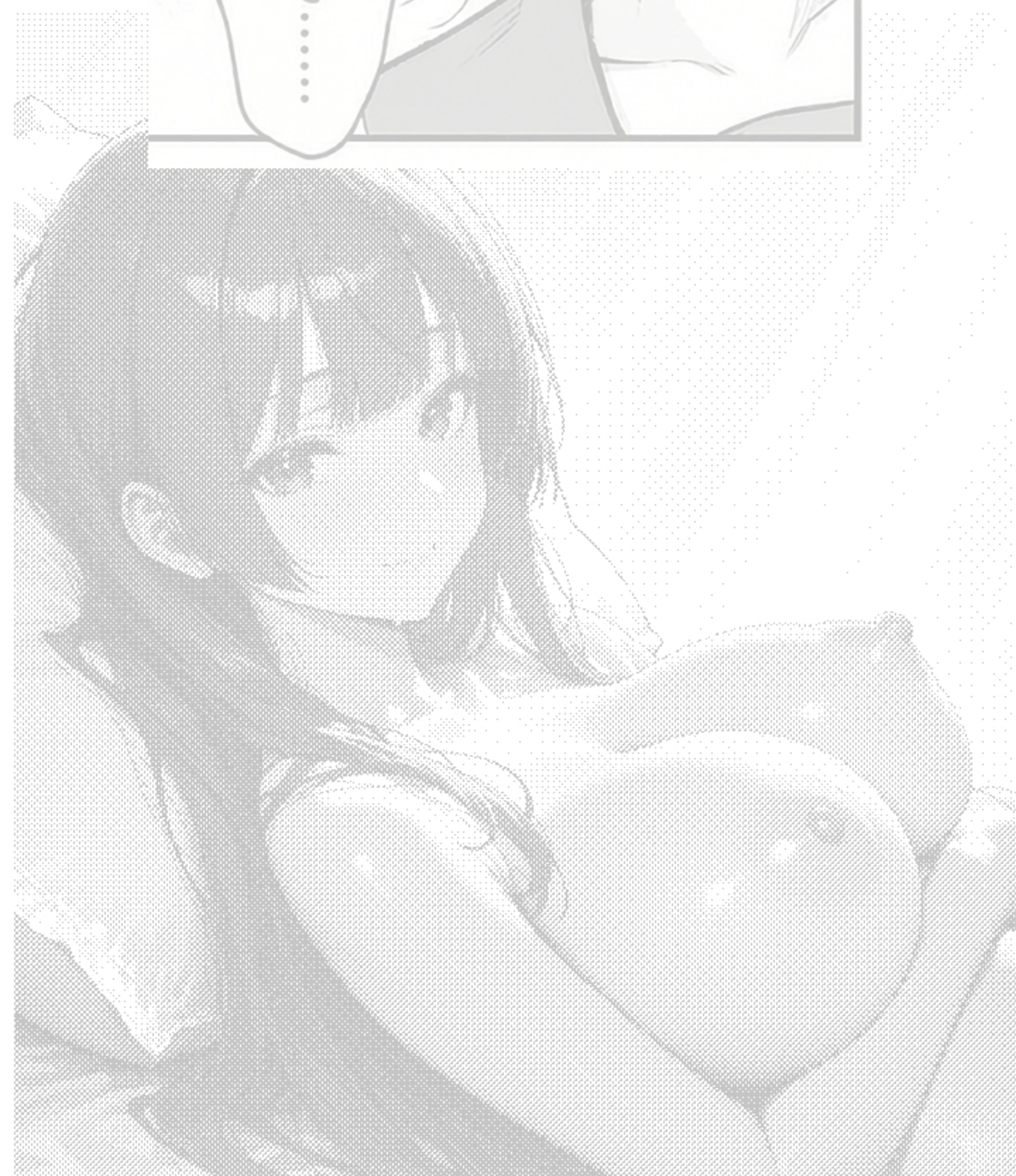
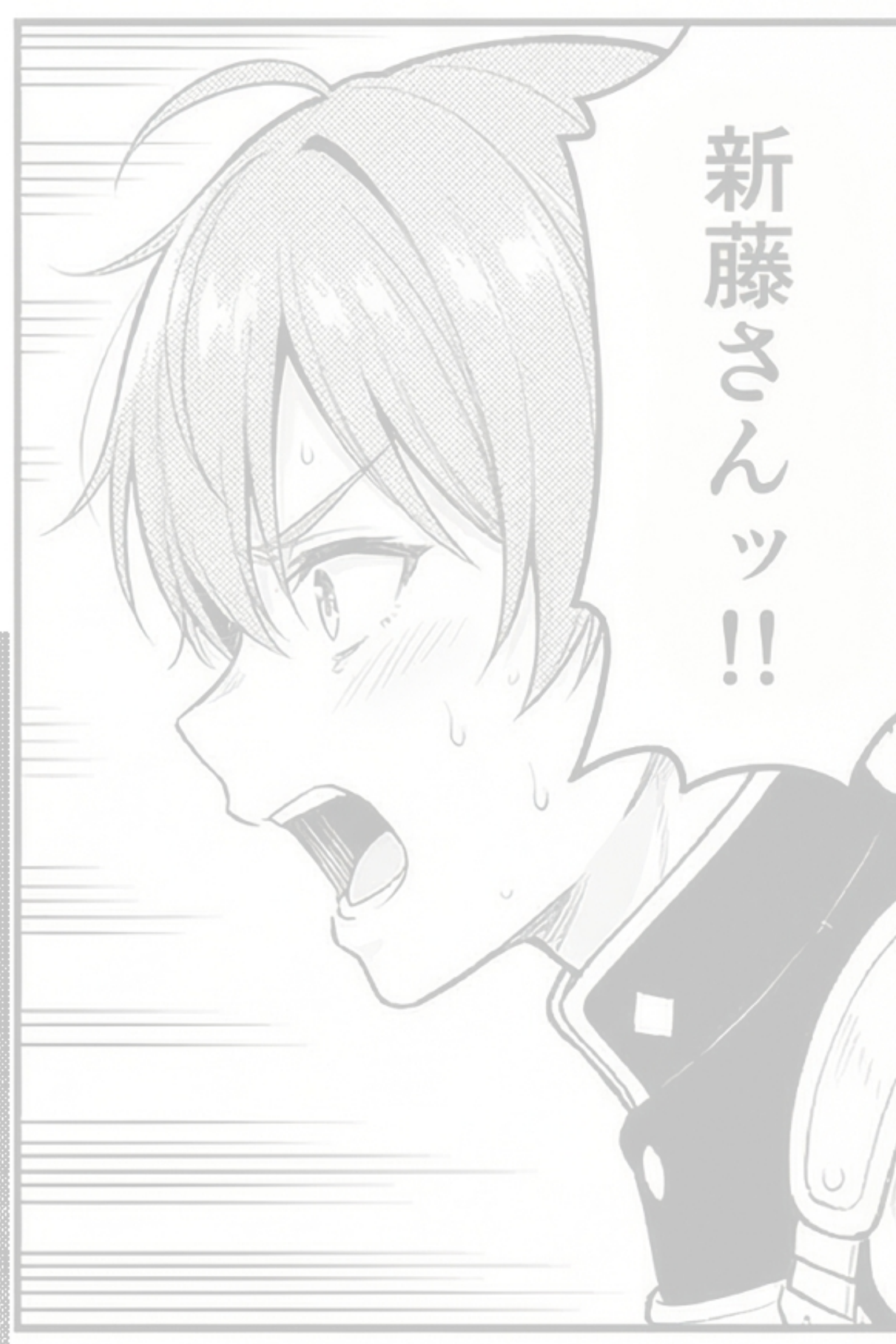
『怖かったけど……』

『怖』  
『最』  
『一』





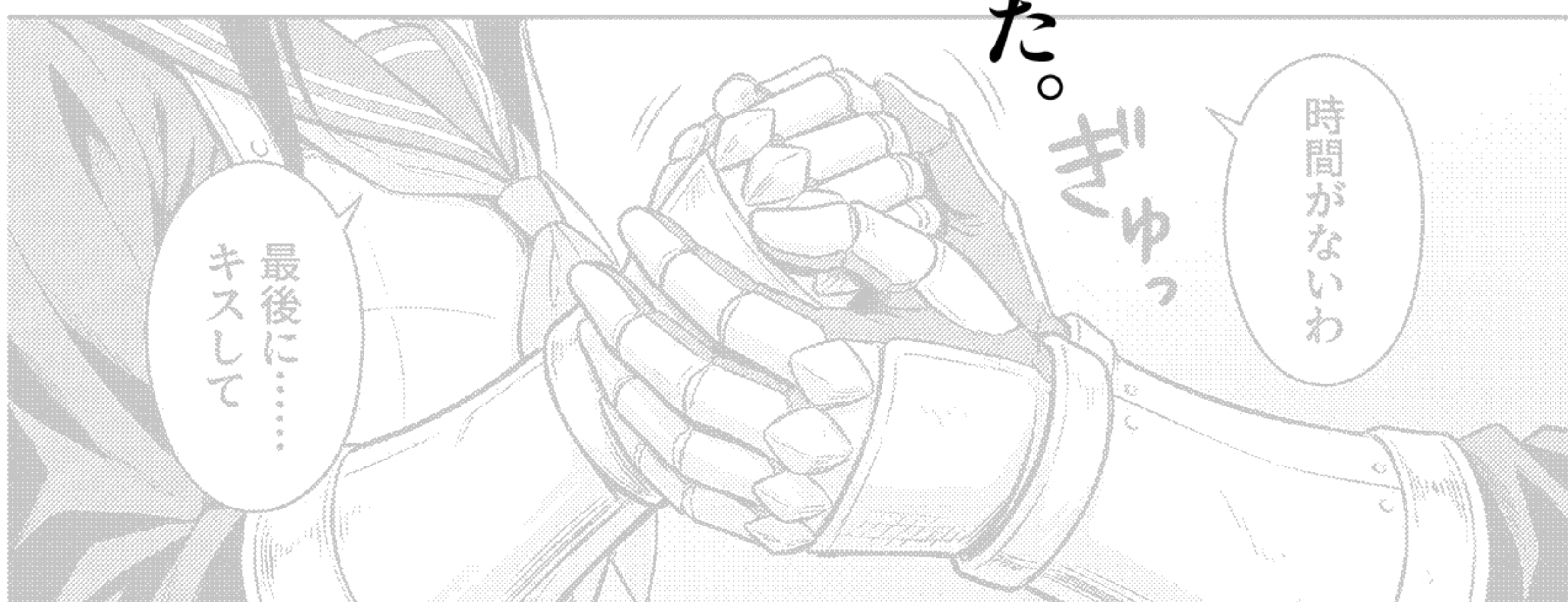
異世界への転移なんて、甘い話じゃない。  
このクソったれな世界は、  
僕たちにはまったく優しくなかった。







理不尽、理不尽、理不尽。  
非情な選択を、当たり前のように強いられた。





ダメだ六花、  
正解の扉は、  
君が選んで……

龍牙くんが  
正解の扉だったら、  
私たちの分まで  
頑張って長生きしてね

できれば、  
楽しい人生を送って

そして僕は未だに、  
恋人にかけてもらった  
呪縛の中で生きている。

六花、  
愛してる

私もよ、  
龍牙くん

……んっ、  
お兄ちゃん、  
大好き……



パチ

……天井……？

ここは……  
アビスコアの  
娯館か……

……はあ

……んっ、  
お兄ちゃん、  
大好き……

……また、あの夢か





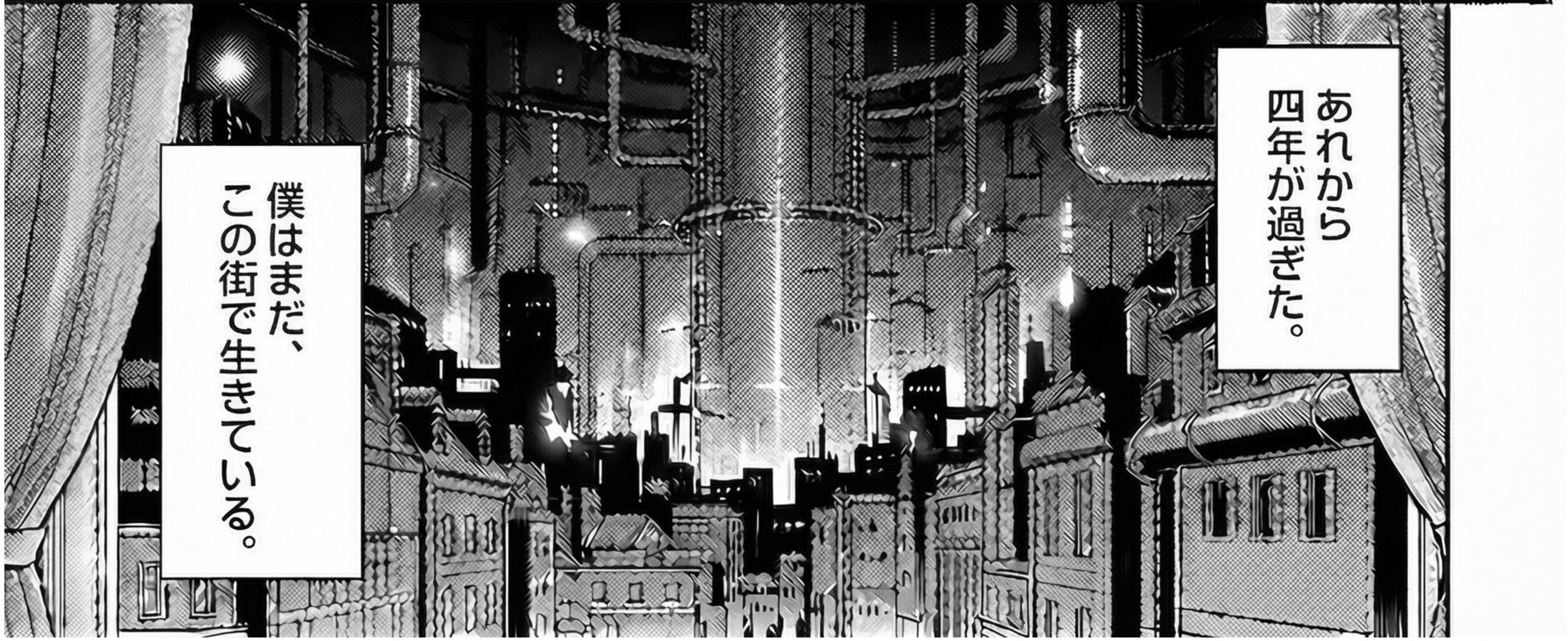
ん……  
お兄ちゃん……？

もっ

おはよう……♡

……ああ。  
おはよう、ティア

ギュ〜ッ♡



あれから  
四年が過ぎた。

僕はまだ、  
この街で生きている。



はあ……♡  
お兄ちゃんの匂い、  
落ち着くぅ……

昨日も、すっごく  
激しかったね……♡

私のおまんこ……  
もう、お兄ちゃん専用の  
『おちんぼケース』に  
なっちゃった♡

ねえ、  
食堂に行く前に……  
私に『朝ごはん』を  
ちょうだい？

……  
朝ごはんって？

もちろん……  
お兄ちゃんの  
『おちんぼ汁』だよ♡

ゴクリ……

たあっぷり、  
飲ませてね？♡



お兄ちゃんのおちんちん、  
朝からすごいね♡  
大好きだよ♡

レロ♡

あんなに激しく、  
私のおまんこを  
ぐっちょぐच्चよの  
精液お便所に  
してくれたのに♡

えへへ、嬉しいなあ♡  
ねえ、お兄ちゃん。  
あれも舐めて良いかな？

干ロ♡

もちろんだよ。  
舐めてほしいな、  
ティアちゃん。

うん、朝から  
上手なご奉仕だね

ちゅぽ♡





お兄ちゃんのお尻の穴、  
とっても美味しいよ。  
ずーっと、舐めてたいくらい

ねろろねろろ...

とってもいやらしくて  
最高のご奉仕だよ、  
ティアちゃん。



ありがとっ♡  
ご褒美にね、昨日みたいに  
お兄ちゃんの手でハメ潰してね♡

ちゅるちゅる

とろとろお...



お兄ちゃん。娼婦まんこで  
朝ハメご奉仕をするから、  
遠慮なくぶっ壊してね♥

売れ残ってたところを  
買ってもらえた女だから、  
ちゃんと満足して帰ってほしいの

娼婦にもね、プライドはあるの。  
命の恩人のお兄ちゃんは  
本当に好きだから…

分かったよ、ティアちゃん。  
支払ったお金の分以上に、  
まんこを使い尽くしてあげる。

オハジキ

おん



んぐ…っ、  
お兄ちゃんのおちんぽ…っ

いざい

せ  
ちゅ…

さっさと奥までぶち込みなさい。  
こんな温い奉仕だと、  
この街じゃ生き残れないぞ。

うん…っ、ごめんなさい。  
甘えてしまって…  
ちゃんと、まんこを壊されて  
ザーメン用の便器になるから…っ

僕はあえて酷いことも言いつつ、  
ティアちゃんを突き上げて連続絶頂に追い込む。  
娼婦になって間もないティアちゃんは、  
懸命におまんこでご奉仕をする。

はーっ♡♡

っあ…

あゝ

嫌いだからじゃない。  
採掘ができず、コネもない女の子が  
生きていくには娼婦として  
しっかり成長しないといけないからだ。

いざい

はーっ♡♡



かんあ

イグうっ♡

おあ  
イグ

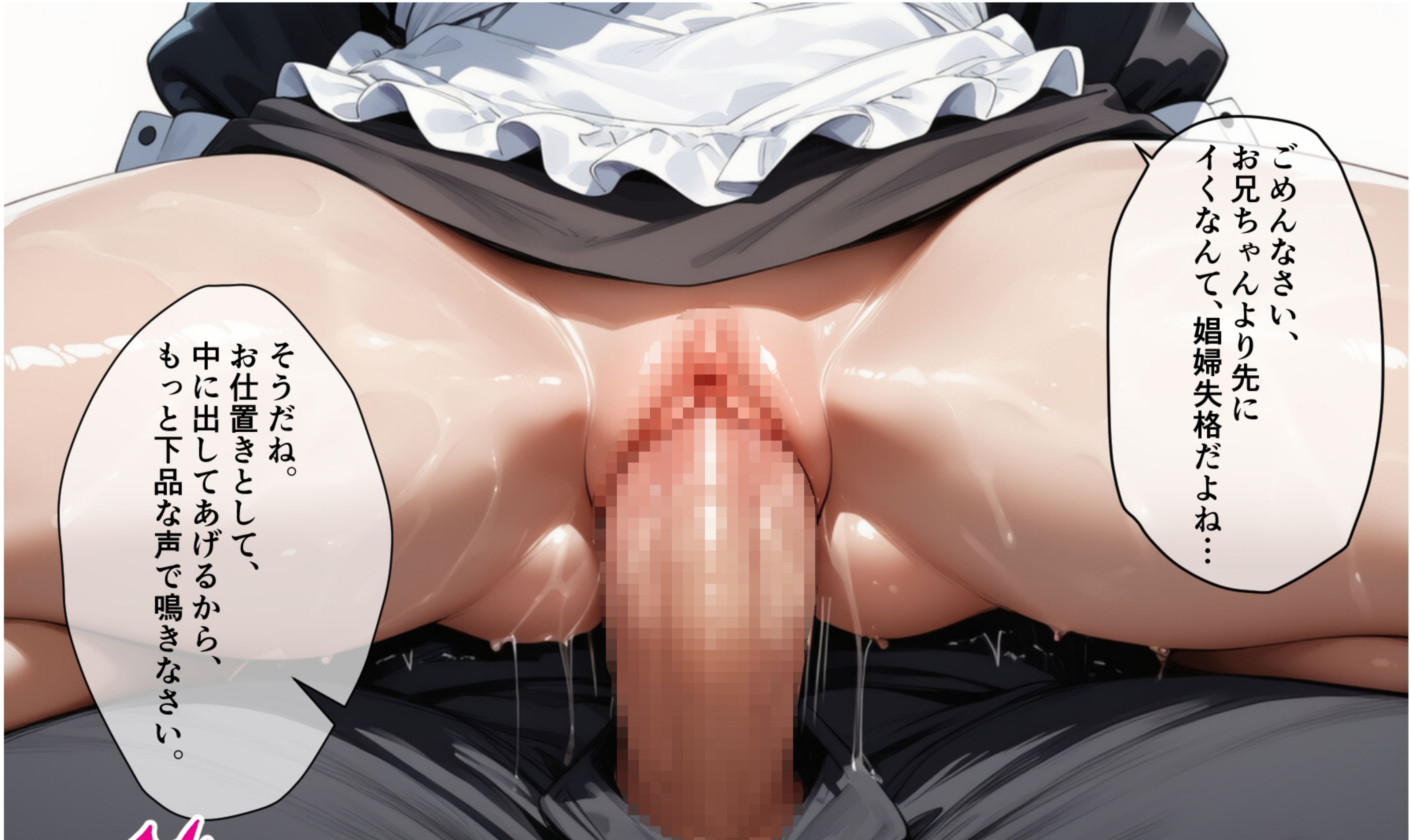
雑魚まんーが  
イグのおおっ♡

お兄ちゃんの  
デカおちんぽで  
イグううううっ♡

ちゅ

ハ





ごめんなさい、  
お兄ちゃんより先に  
イくななんて、娼婦失格だよね…

そうだね。  
お仕置きとして、  
中に出してあげるから、  
もっと下品な声で鳴きなさい。



びゅるるる

きゅん

よしっ、出すぞ。  
ちゃんと受け止めろ…ッ！



うん…  
お…ぐおお…

イぐ、  
またイぐう…





うぐ……っ、  
お兄ちゃんのおちんぽが、  
やっぱり一番……ッ

すご  
ぽんっ

パ  
ンッ

本番はここからだよ。  
雑魚まんこに教育を  
たっぷりとしてあげる。

イ  
グッ



く  
んッ  
パ  
ンッ

イ  
グッ



び  
ゅ  
ッ  
ッ  
ッ



い  
い  
ぐ  
う……

く  
ん  
ッ  
ッ  
ッ



雑魚おまんこで  
ごめんにゃひゃい……

はあっ

はあ……

まだだよ。  
壊されて良いつて  
言い出したのは、  
ティアちゃんだからね。

うん……ありがとう。  
売れ残りの娼婦まんこを、  
お兄ちゃんのおちんぽで、  
めちゃくちやに壊して……

ドロォ

結局、僕は脱力するティアちゃんを  
追加で三発射精してハメ潰し、  
三十分ほど休憩させてから  
食堂へ向かったのだった。



食堂は、本来は客が  
入れない場所だ。

ふわあー

だが、この店を  
自宅のように使っている  
僕は、  
特別級いで食事つきだ。

あつ、  
おはよう、  
リュウガさん！

おはよう、  
ウフル

あら、昨日は  
ティアだったの？  
私を買ってくれない  
なんて、寂しいわ

君はお客がいたらろ  
ローリー。もちろん、  
魅力的だよ

ねえねえ、  
今度は私たちを  
買ってよ♡

姉妹井、  
したいでしょ？

したいよね？  
お願いっ♡





おはよう、リュウガちゃん。  
さあ、今日もたっぷり稼いで、  
うちの子たちを  
買ってあげてね







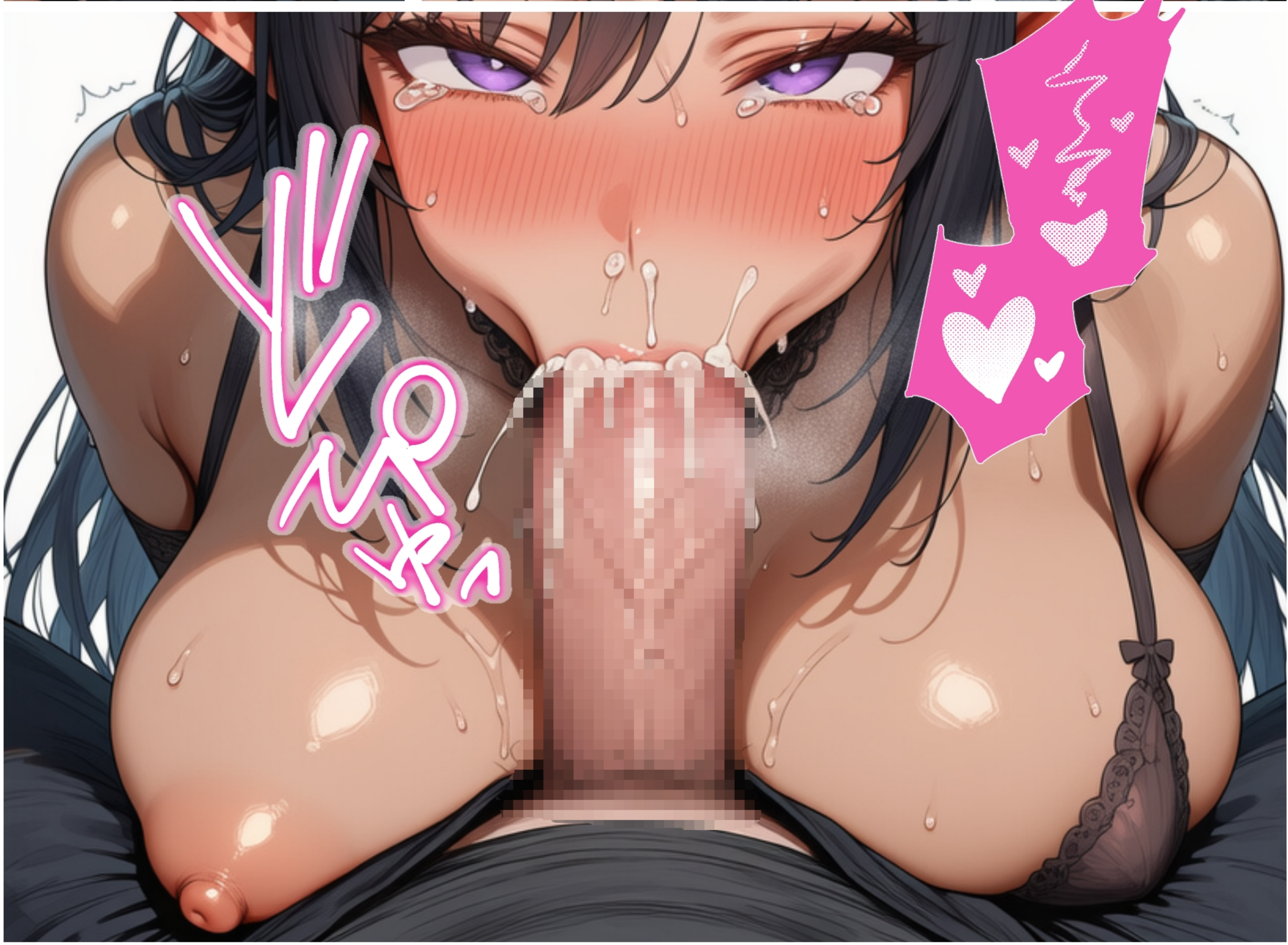


良いなあ、リュウガさんのおちんぽを喉奥までねじ込んでもらえるなんて


いつもは優しいのに、凌辱モードに入ると容赦ないのが素敵よね♡

ドゥドゥドゥドゥ









ローリーは精液を飲み込んだあと、  
耳を赤くしたままお掃除フェラをしてくれた。  
この街に娼婦は多い。  
客を取りはぐれないよう、サービスは過激だ。

僕はその生き方を否定しない。  
むしろ積極的に女の子たちを買って、  
過激なオプシオンをリクエストして、  
たっぷりハメ潰してあげている。















おはよ、  
リュウガ

今日は  
『第七二八番鉦』  
でしたっけ？

タンッ

ああ。  
あそこにはかない  
『ムスト鉦』が  
不足してるみたいだね

ドンッ

あそこは入坑の  
人数制限が  
二人だろ？

だから無理言って、  
あんたを指名させて  
もらったんだよ

契約内容は  
いつも通り、ちゃんと  
するからさ……

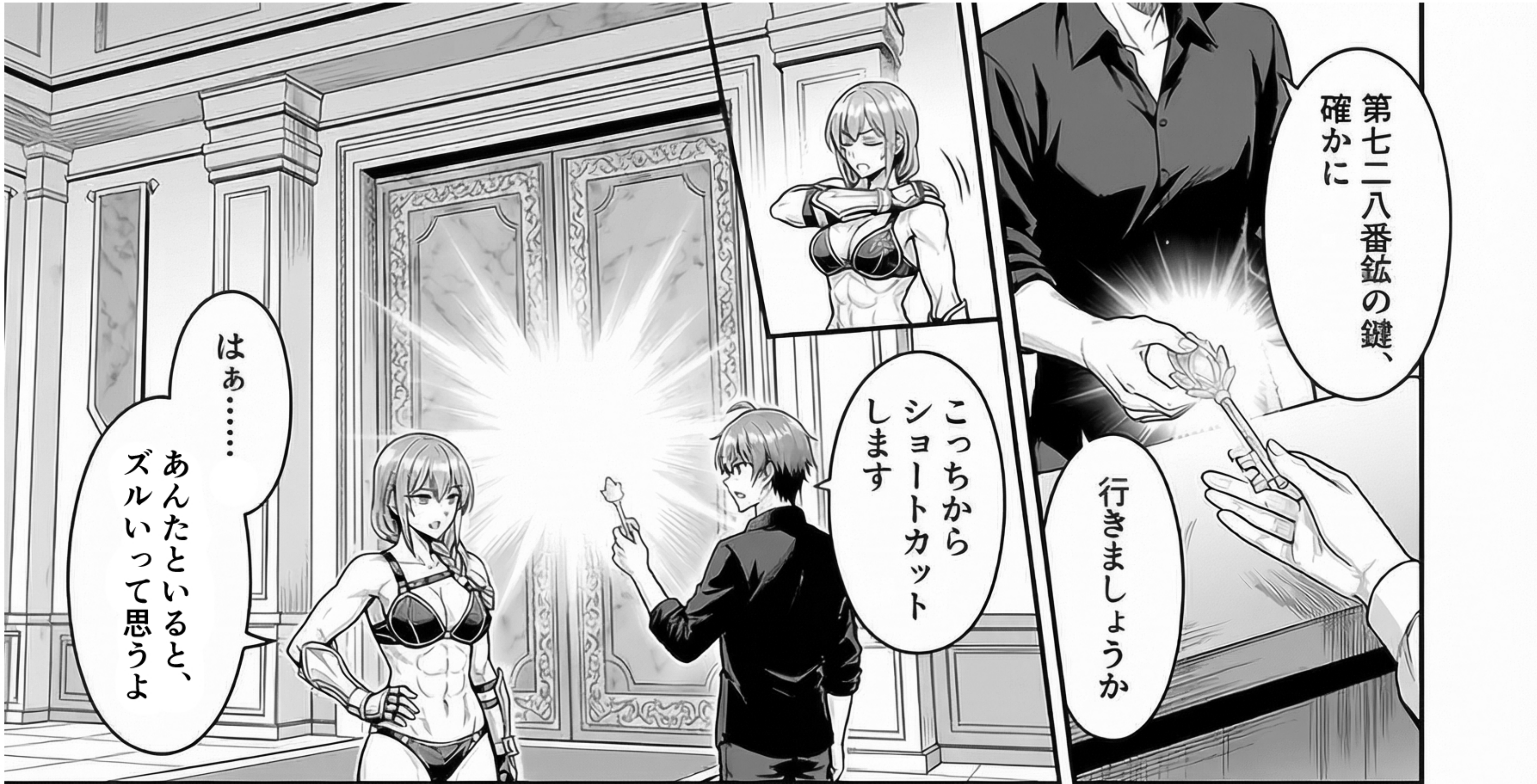
戦士・アネシア  
上限階数・2階

……いつも通りって  
ことは、  
『アレ』もだよな？

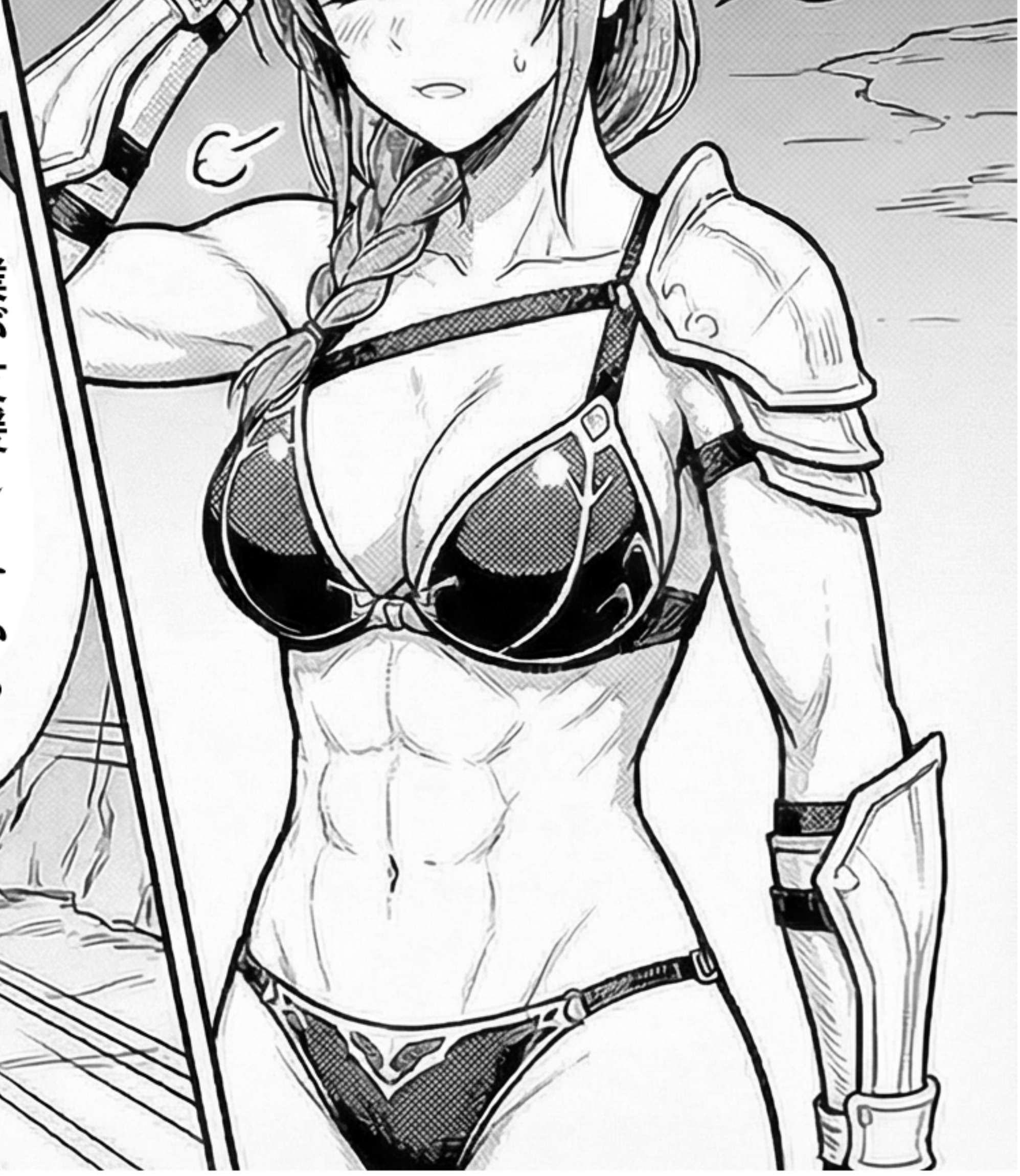
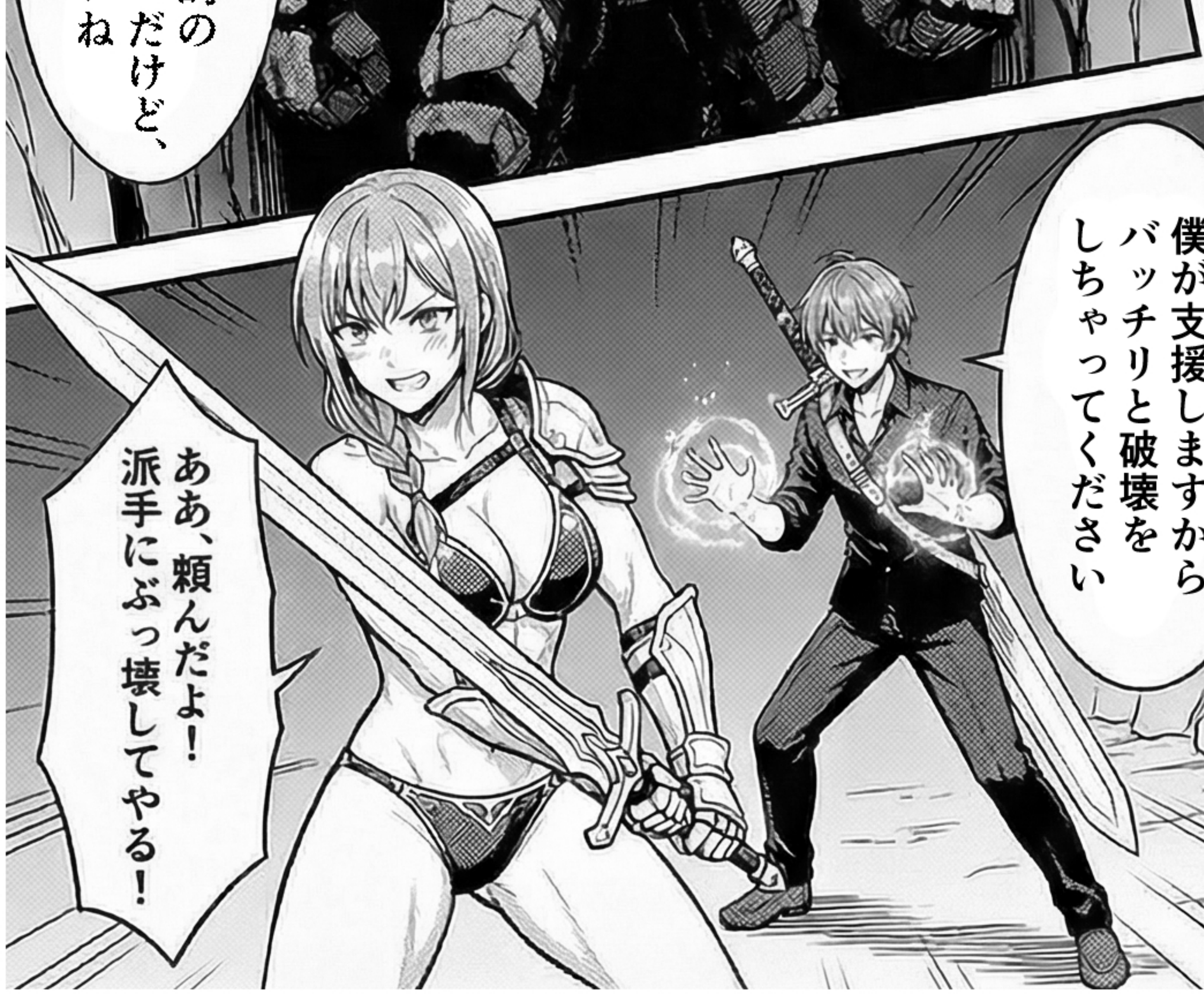
ビギッ

この前みたいに、  
よがり声を上げている  
淫らなアネシアさんを  
他のパーティに見られる  
ことはないですよ













く……っ、  
こいつ、いつもより  
硬いじゃないか……っ！

ガンッ！

ビッ！

グオオオオツ！！



堕ちろ……ッ！

ズッ！！

第三十六番術式起動。  
SSランク罫魔法、  
アビス・マイア  
奈落の沼——顕現。



物理耐性特化型か。  
だが、甘いな。  
僕たちには敵わない

アネシアさん、  
下がってください。  
隙を作ります



アネシアさんなら、  
仕留められる硬さだ

……どうぞ、  
「首」をご自由に

ズブッ！！

アビス・マイア  
奈落の沼

ガ、ガガ……ッ！  
ゴオオオ……ッ！！



あいよっ!!

タンッ!

豪剣

らああっ!!

金豪武石斬

スカーズ!!

ふう。相変わらず  
デタラメな魔法だね

畏魔法なんて、  
あんただけだよ

お見事です



ピロン♪

『ムスト鉱を  
獲得しました』

あんたが隙を作っ  
てくれたから、大技を  
安心して出せたよ

さすがですね。  
高難易度の魔物を  
一撃で屠るとは

ピロン♪

回収完了。  
貢献度に応じて  
自動分配……

報告書要らずで  
明朗会計だ

これがあるから、  
手柄争いで揉めな  
く済んだよねえ

排除

消滅

違反者は即座に罰せられる。  
だけど悪さをするのは、  
無知な新参者くらいだ。

二年前にこのシステムが  
突如として登場してからというものの、  
アビスコアの治安は劇的に改善された。  
今では世界一、安全な都市だろう。

(僕はこれを  
「不思議システム」と  
名付けている)  
(魔鉱都市にいる限り、  
システムが法律だ。  
詐欺も恐喝も窃盗もできない)



到着ですね。  
ここはセーフゾーン……  
魔物が入ってこない  
安全地帯です

ふう……。  
やっと一息つけるね

ふう……

じゃあ早速ですけど……  
『契約』を履行して  
もらいますね

ああ、  
分かったよ

身体を売ることも  
契約のうちだからね。  
一時間は好きに使いな

カチャ……

どうする？  
全裸になった方が  
良いかい？

二人きりだと、  
積極的ですな

ガニャン

……ほら、  
好きにしなよ